

警察庁

高解像度衛星画像解析システムの運用

事業期間（平成12年度～）

平成30年度概算要求額276百万円（平成29年度予算額250百万円）

警察庁情報通信局
情報通信企画課通信運用室
03-3581-0141（6085）

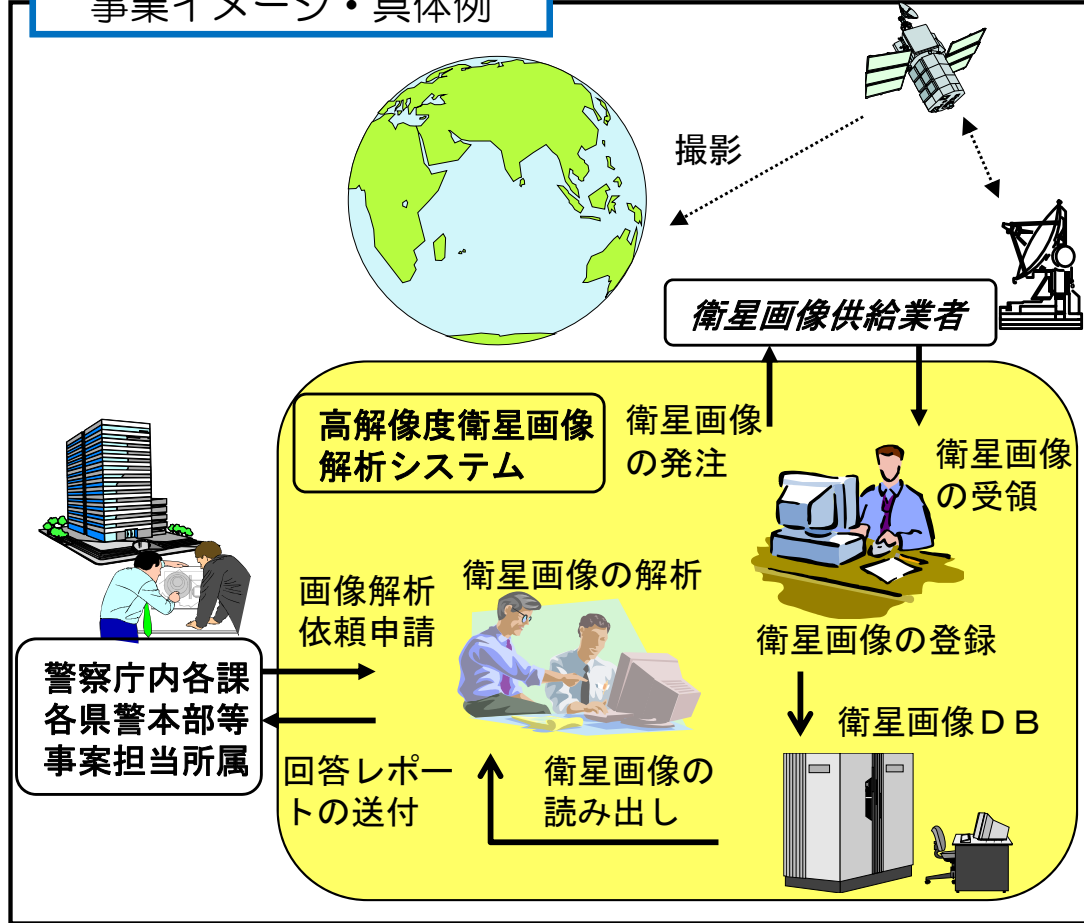
事業概要・目的

- 目的
衛星画像データを各種警察活動に活用します。
- 事業内容
衛星画像供給業者から購入した衛星画像を、高解像度衛星画像解析システムを用いて解析し、各種警察活動に活用します。

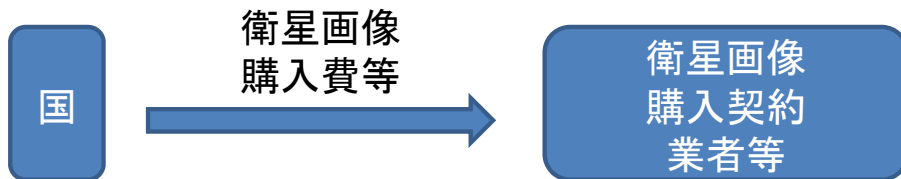


関東・東北豪雨災害 ～常総市（茨城県）～

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 台風、地震や大雨等の災害が発生した場合に被災前後の衛星画像を鮮明化したり、道路位置情報を付加するなどの画像処理を施し、被災状況の把握等に活用した多くの実績から、引き続き災害警備等の各種警察活動への活用が期待できます。

通信衛星の使用

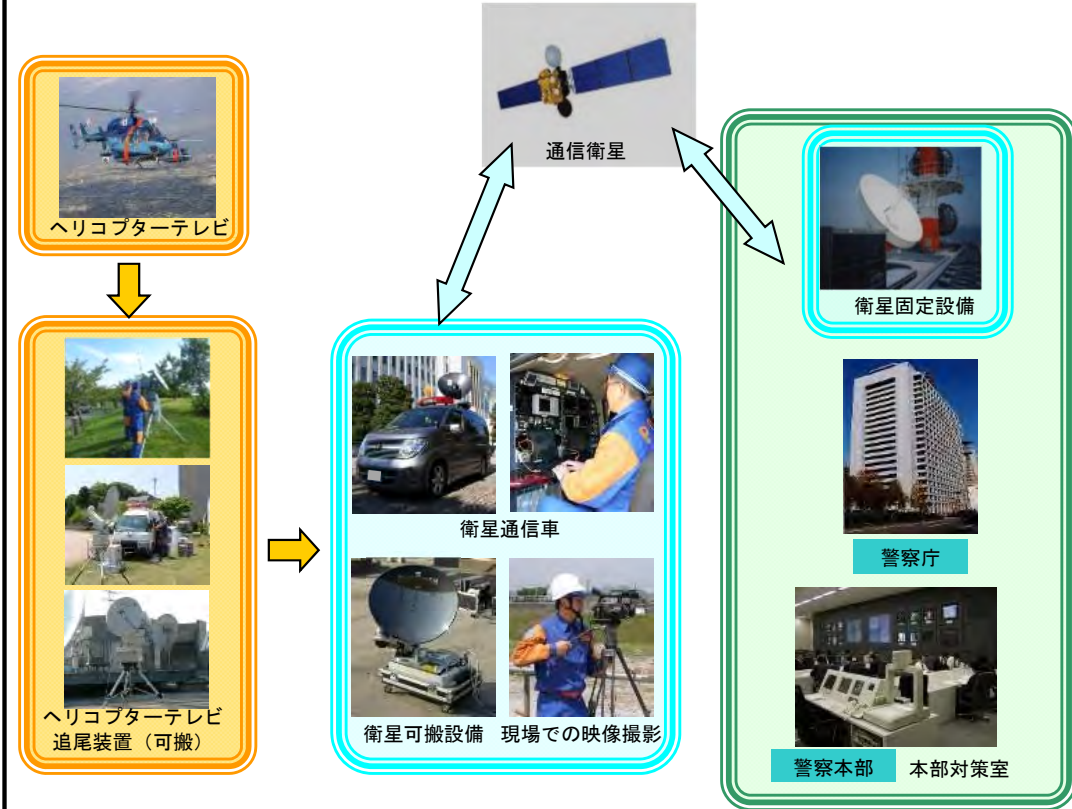
平成30年度概算要求額531百万円（平成28年度予算額527百万円）

警察庁情報通信局
情報通信企画課通信運用室
03-3581-0141（6085）

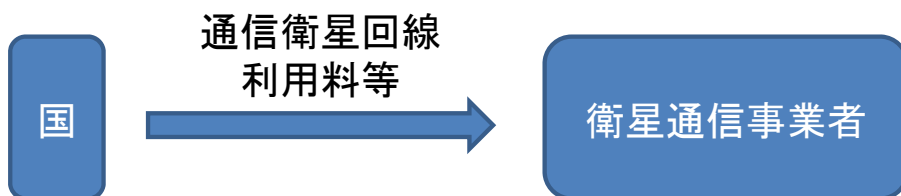
事業概要・目的

- 目的
通信衛星の中継器を使用して伝送された現場映像等を各種警察活動に活用します。
- 事業内容
警察では、大規模な災害や事故等の現場状況を的確に把握するため、カメラやヘリコプターテレビシステムにより撮影された映像を、関係警察本部、警察庁等に伝送しています。これらの映像は、首相官邸にも伝送することが可能であり、政府の初動対応にも役立てられています。
当該活動のため、全国の警察本部等に衛星固定設備や衛星可搬設備を、管区警察局等に衛星通信車を整備しており、衛星通信の特徴である広域性、同報性、耐災害性を活かし、衛星通信を災害現場等からの映像伝送回線や臨時電話回線として使用しています。

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 台風、地震や大雨等の災害が発生した場合に通信衛星を使用し、被災状況の把握、被災者の避難誘導等に必要な映像を、警察庁、首相官邸、災害警備本部等にリアルタイムで伝送した多くの実績から、引き続き災害警備等の各種警察活動への活用が期待できます。¹²

政府間端末等の運用

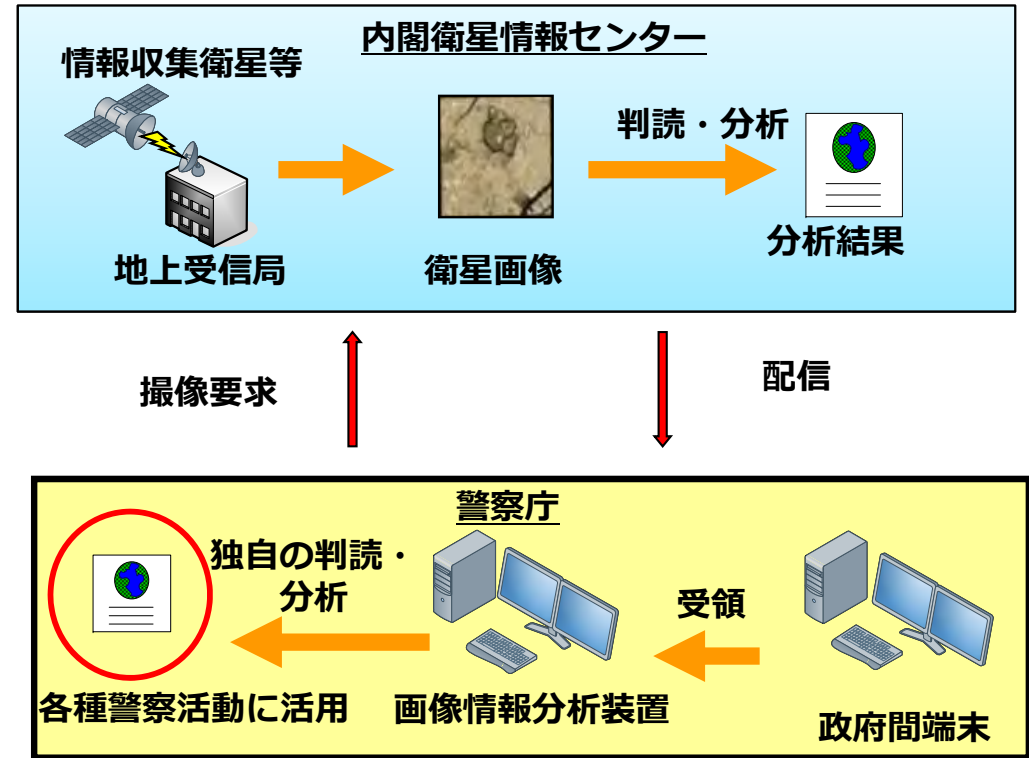
事業期間（平成20年度～）
平成30年度概算要求額119百万円（平成29年度予算額34百万円）

警察庁情報通信局
情報通信企画課通信運用室
03-3581-0141（6085）

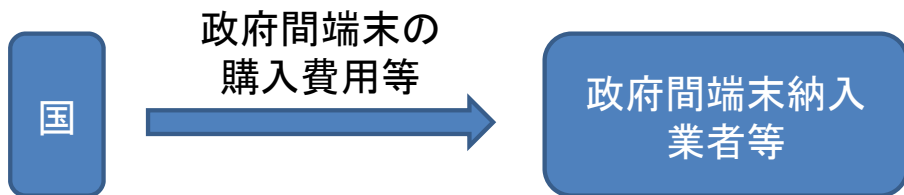
事業概要・目的

- 目的
警察庁と内閣衛星情報センターとの間で、画像情報等を送受信し、判読・分析するためのシステムです。
- 事業内容
情報収集衛星等で得られる画像情報・分析結果等を内閣衛星情報センターからネットワーク回線を通じて政府間端末で受領し、画像情報分析装置を用いて独自の判読・分析を加え、各種警察活動に活用します。

事業イメージ・具体例



資金の流れ



期待される効果

- 内閣衛星情報センターから情報収集衛星等で得られる画像情報・分析結果を活用することにより、各種警察活動の効率化等が期待できます。